

データからみたみやぎの健康 概要版

- 平成29年度版 -



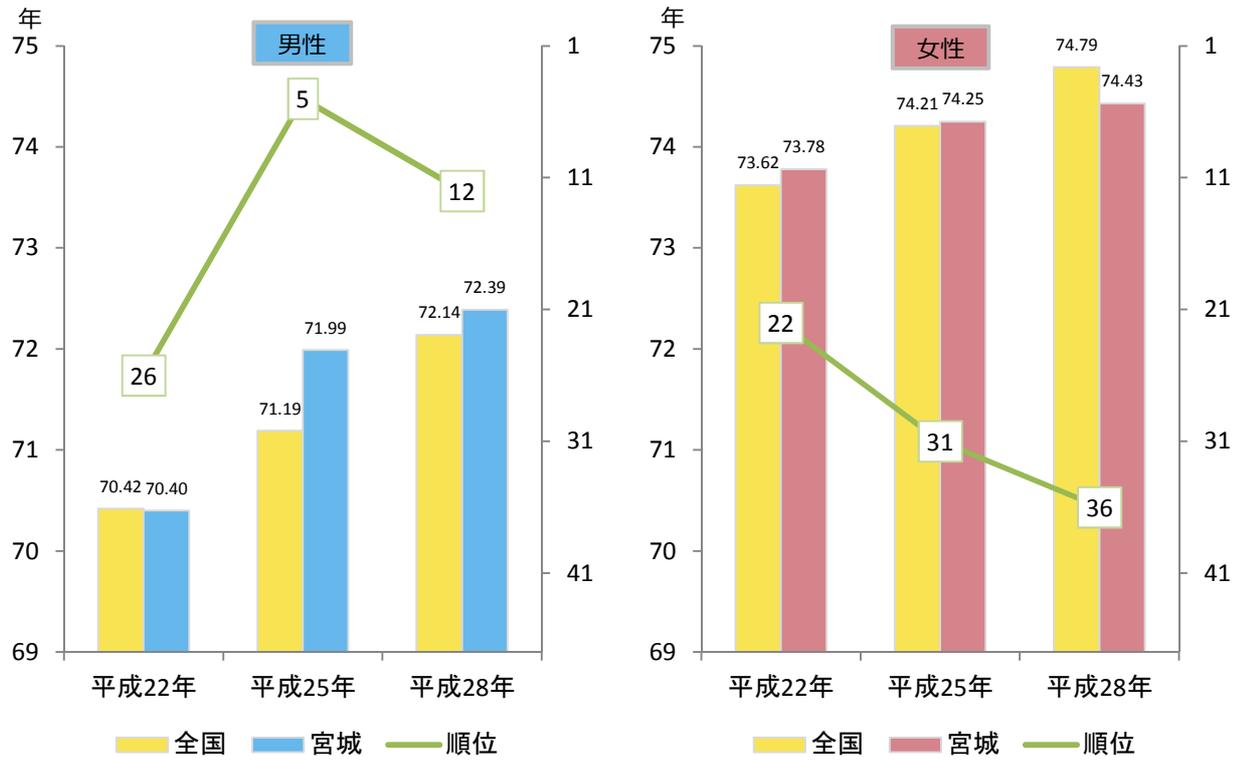
宮城県保健福祉部
平成30年3月

健康寿命

【都道府県の状況】

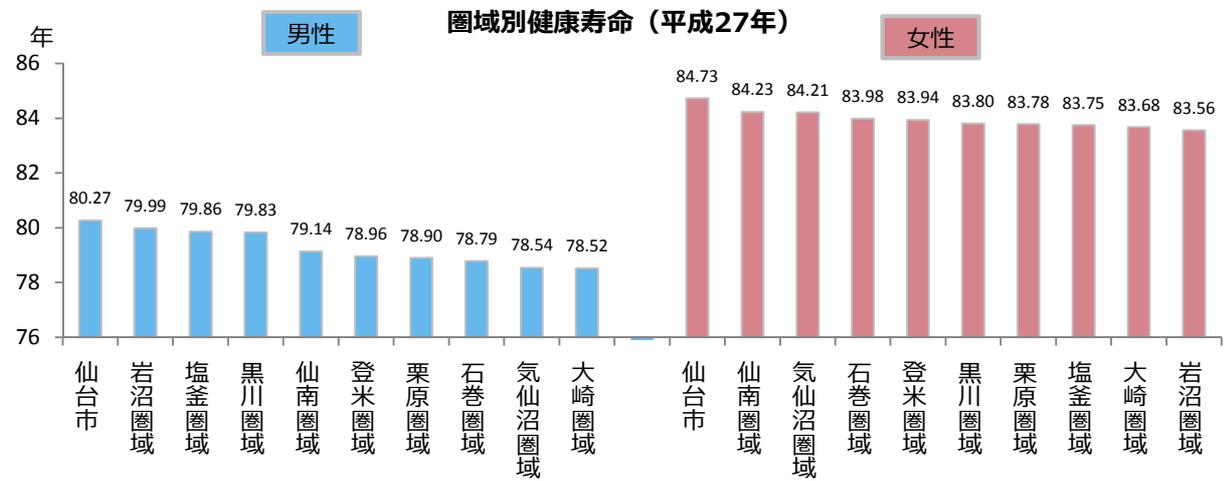
- 宮城県男性の健康寿命は平成22年からの伸びが全国を上回り、全国12位。
- 宮城県女性の健康寿命は平成22年からの伸びが全国を下回り、全国36位。

健康寿命の伸び（全国との比較）



資料) 厚生科学研究班算出「日常生活に制限のない期間の平均」

【圏域別の状況】

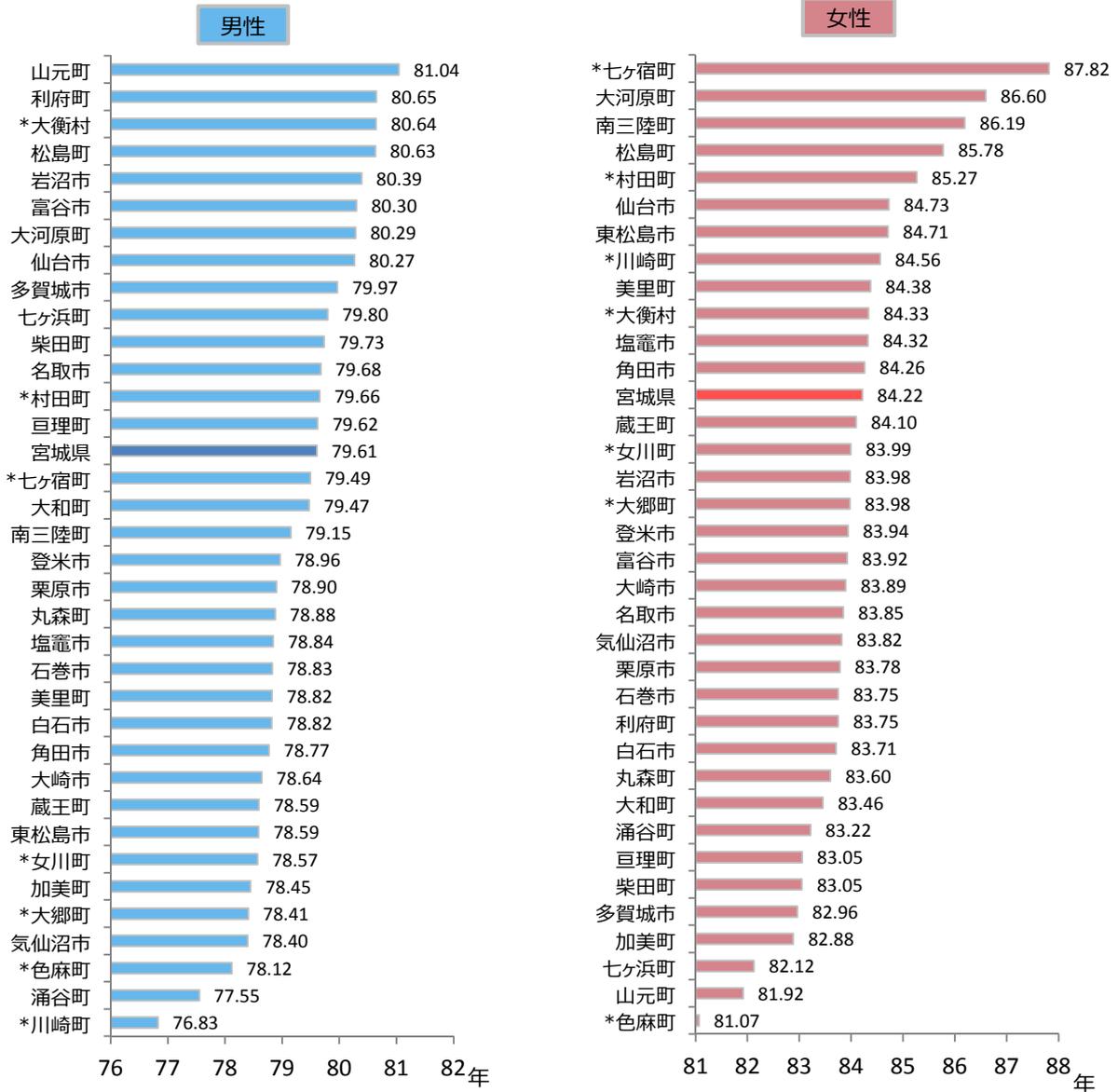


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

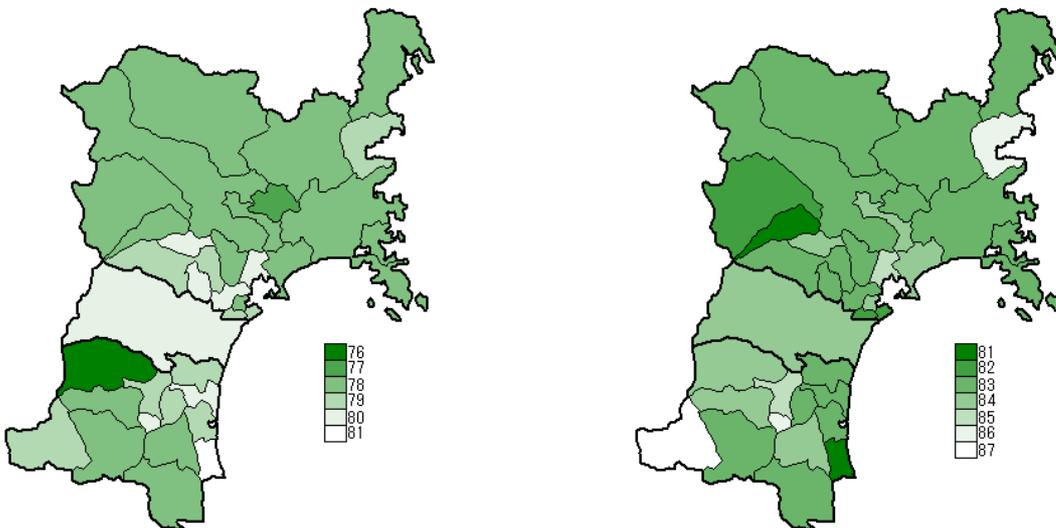
注) 「要介護認定2以上の認定者数」をもとに算出しているため、上記の「日常生活に制限のない期間」をもとに算定した都道府県の健康寿命とは比較できません。

【市町村別の状況】

市町村別健康寿命（平成27年）

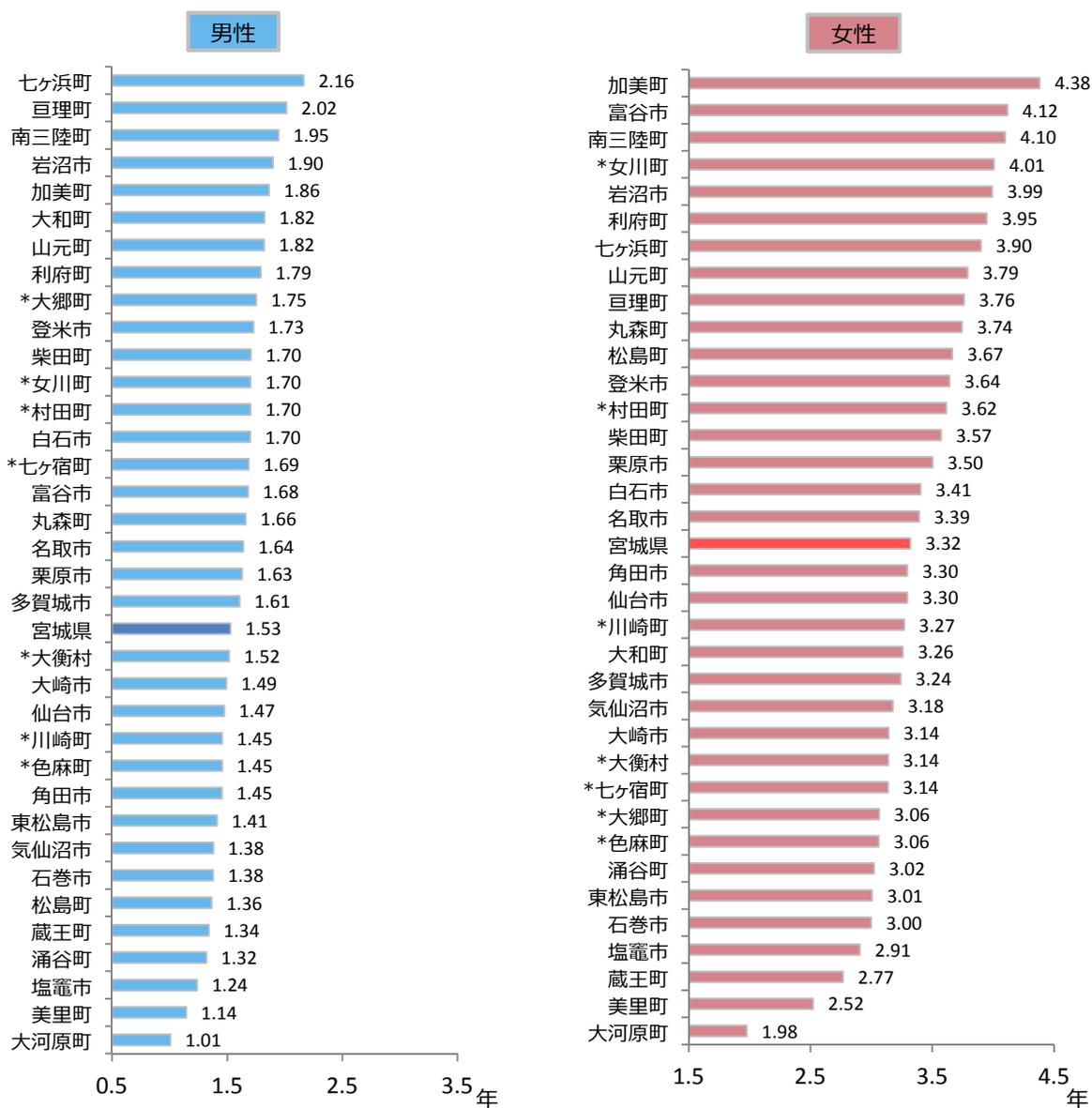


注) *のついている人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きくなるため参考値とします。

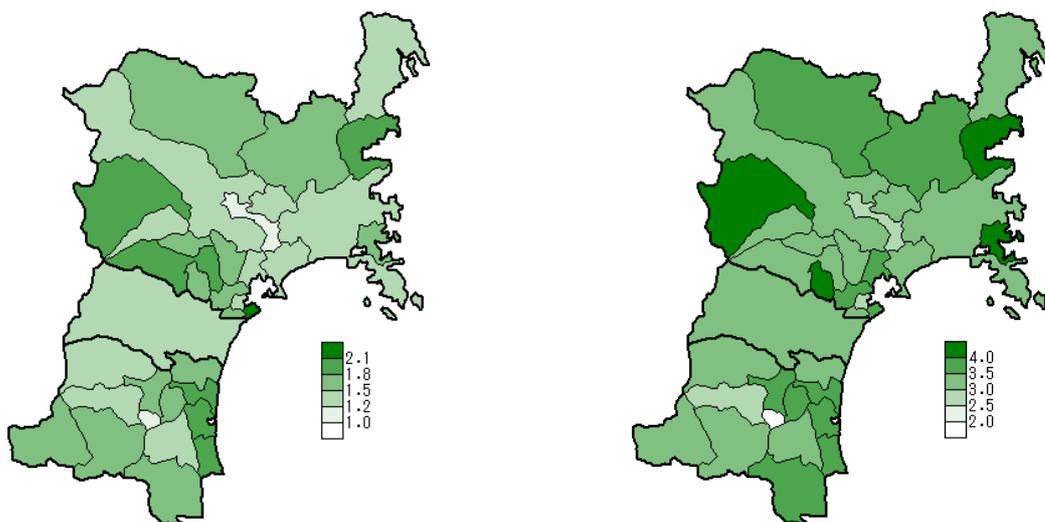


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

不健康な期間（平成27年）



注) *のついている人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きくなるため参考値とします。



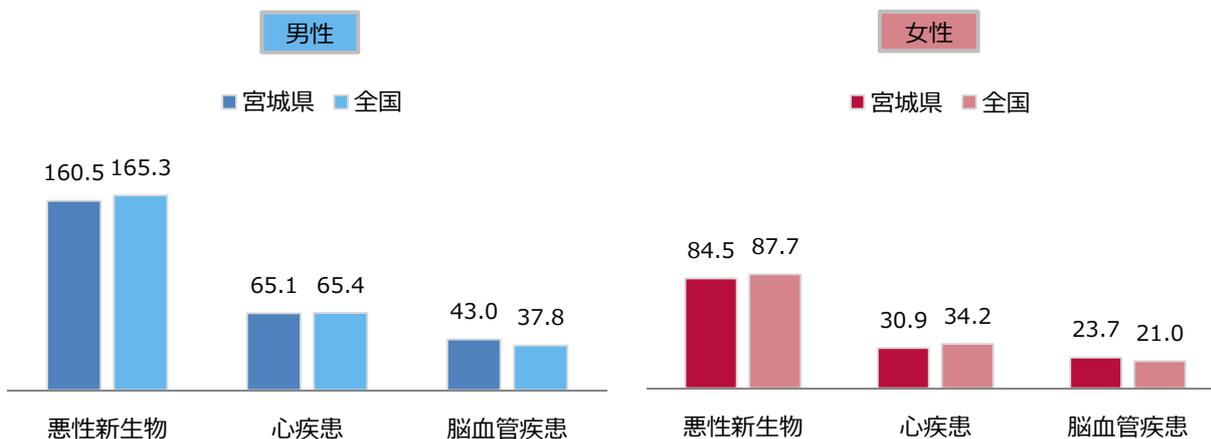
資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出 ※不健康な期間 = 平均寿命 - 健康寿命

死亡の状況

【都道府県の状況】

○宮城県の主な死因の年齢調整死亡率は、脳血管疾患のみ全国より高く、男性全国13位、女性は11位。
(高い順)

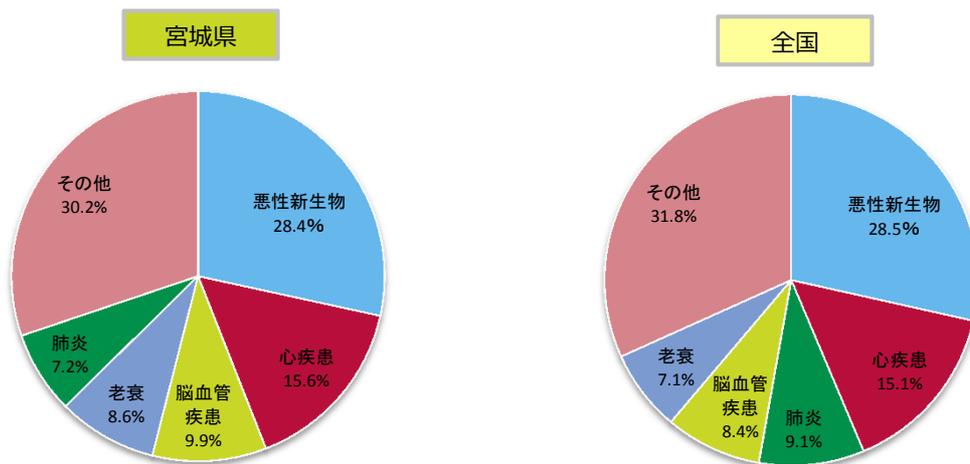
主な死因の年齢調整死亡率（平成27年）



資料) 人口動態統計特殊報告 (H29)

○宮城県の死亡順位は、1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管疾患、4位老衰、5位肺炎の順。
全国では肺炎が3位で、脳血管疾患は4位。

死因別死亡割合（平成28年）

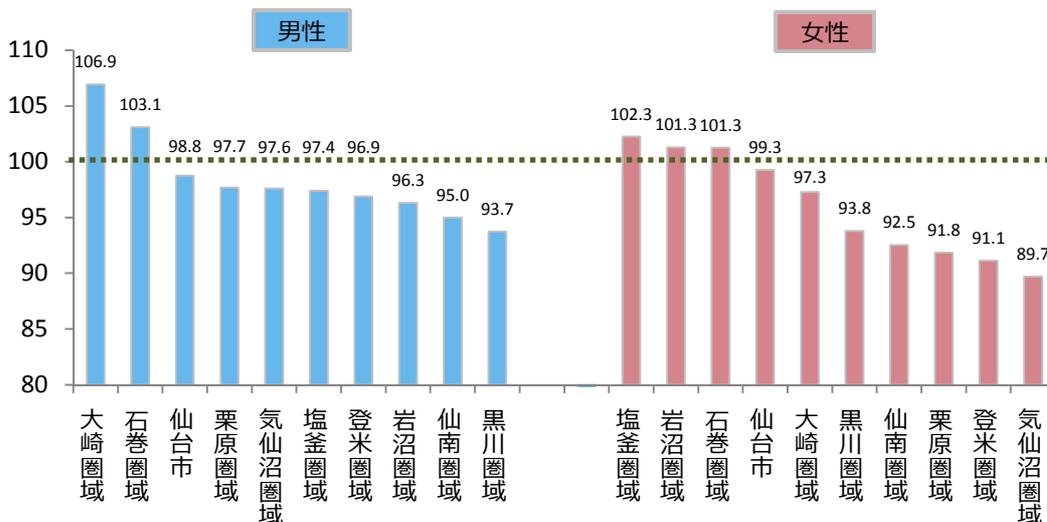


資料) 人口動態調査 (H28)の死亡数から算出

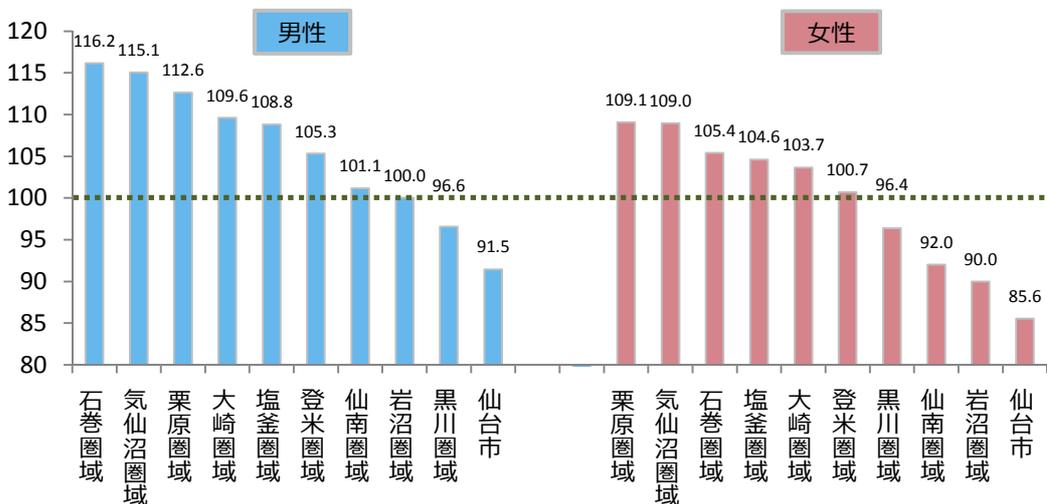
【圏域別の状況】

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR (平成27年)

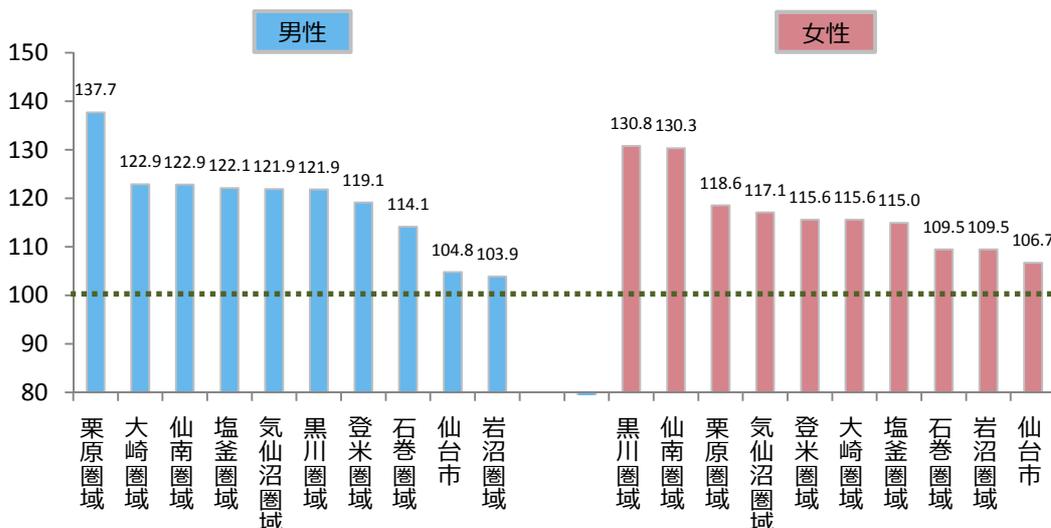
※全国=100



心疾患 標準化死亡比EBSMR (平成27年)



脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (平成27年)



■ EBSMR (SMR経験的ハイズ推定値) について

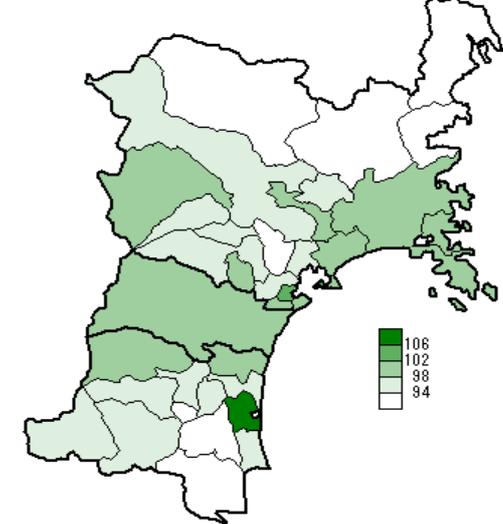
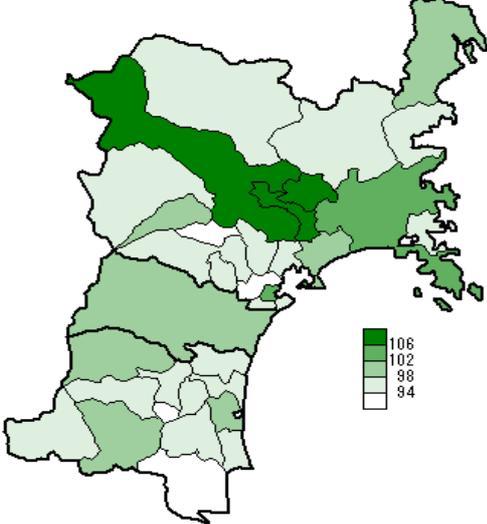
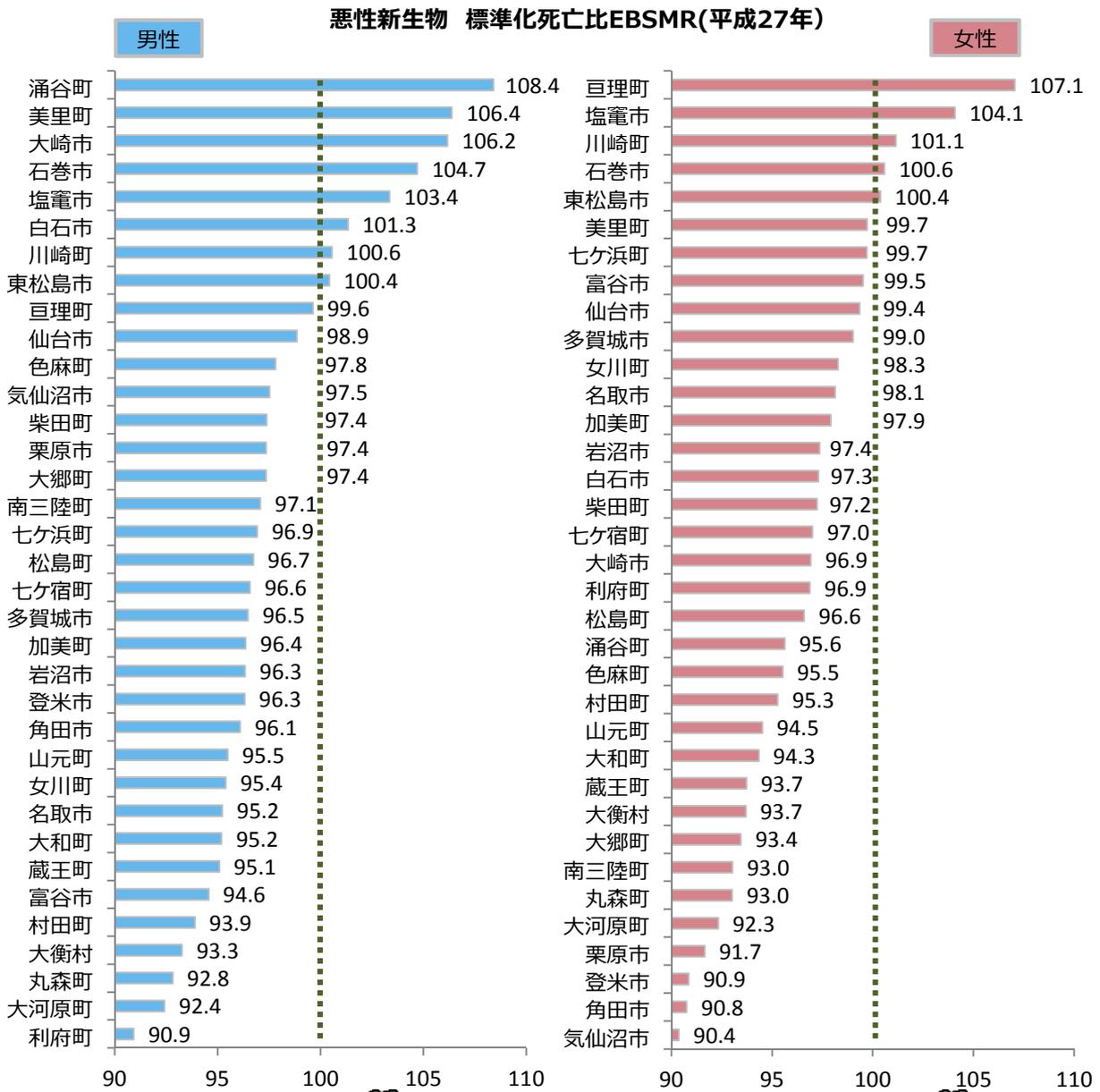
年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比 (SMR) がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見ると、死亡数が少ないと数値が大きく変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「ハイズ推定」を使用しました。全国を100として相対値で表したもので、EBSMRが100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

計算：Estimator for Poisson-Gamma model ver.2.1.1.0 (国立保健医療科学院技術評価部提供)

【市町村別の状況】

○悪性新生物 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は涌谷町、女性は巨理町。

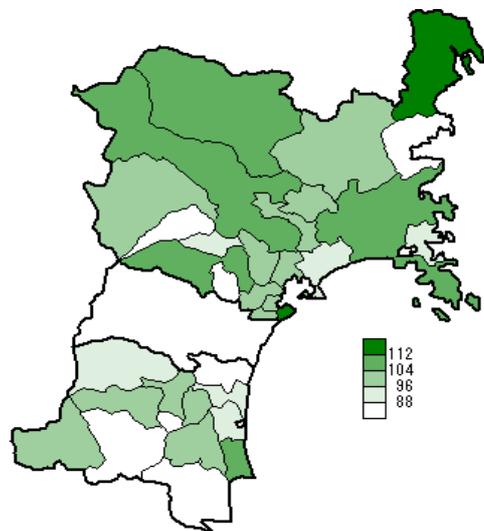
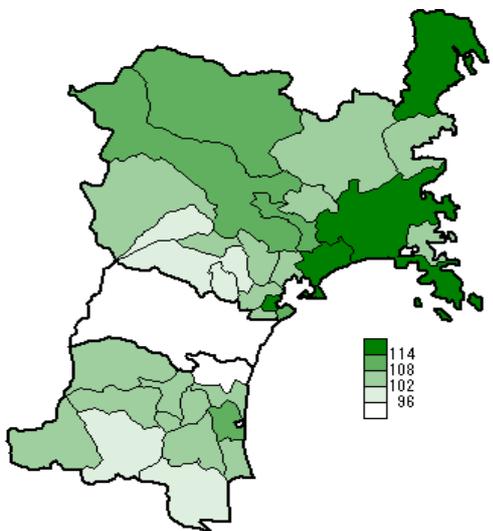
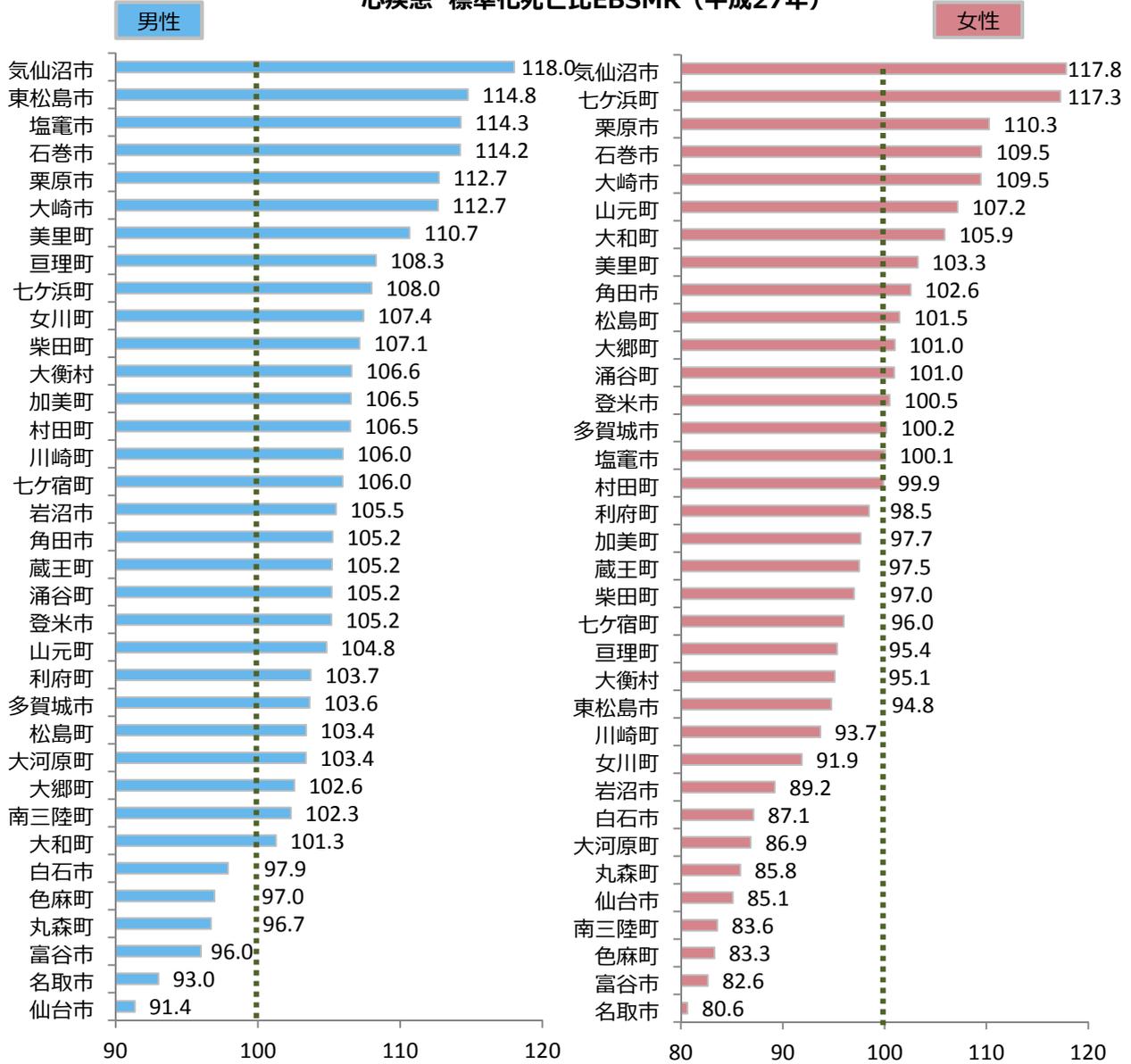
※全国=100



○心疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男女ともに気仙沼市。

※全国=100

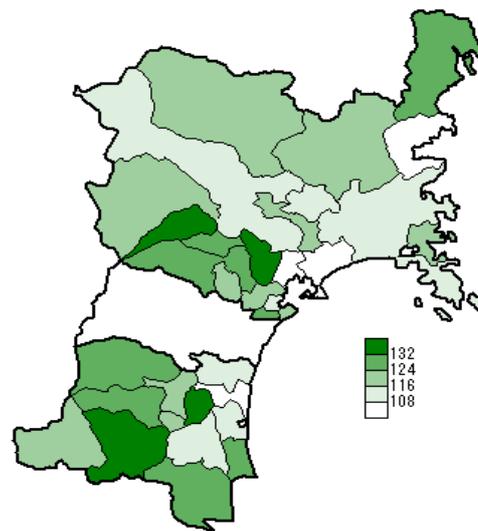
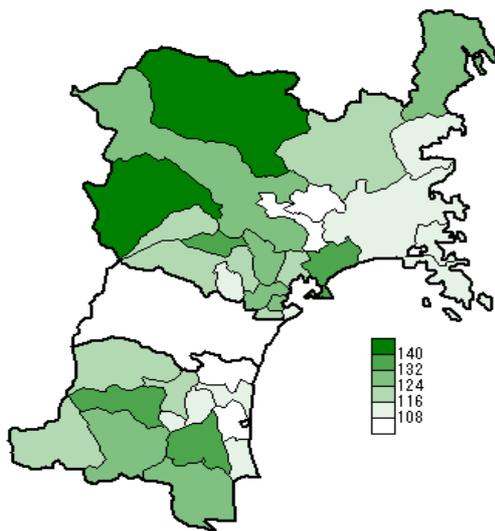
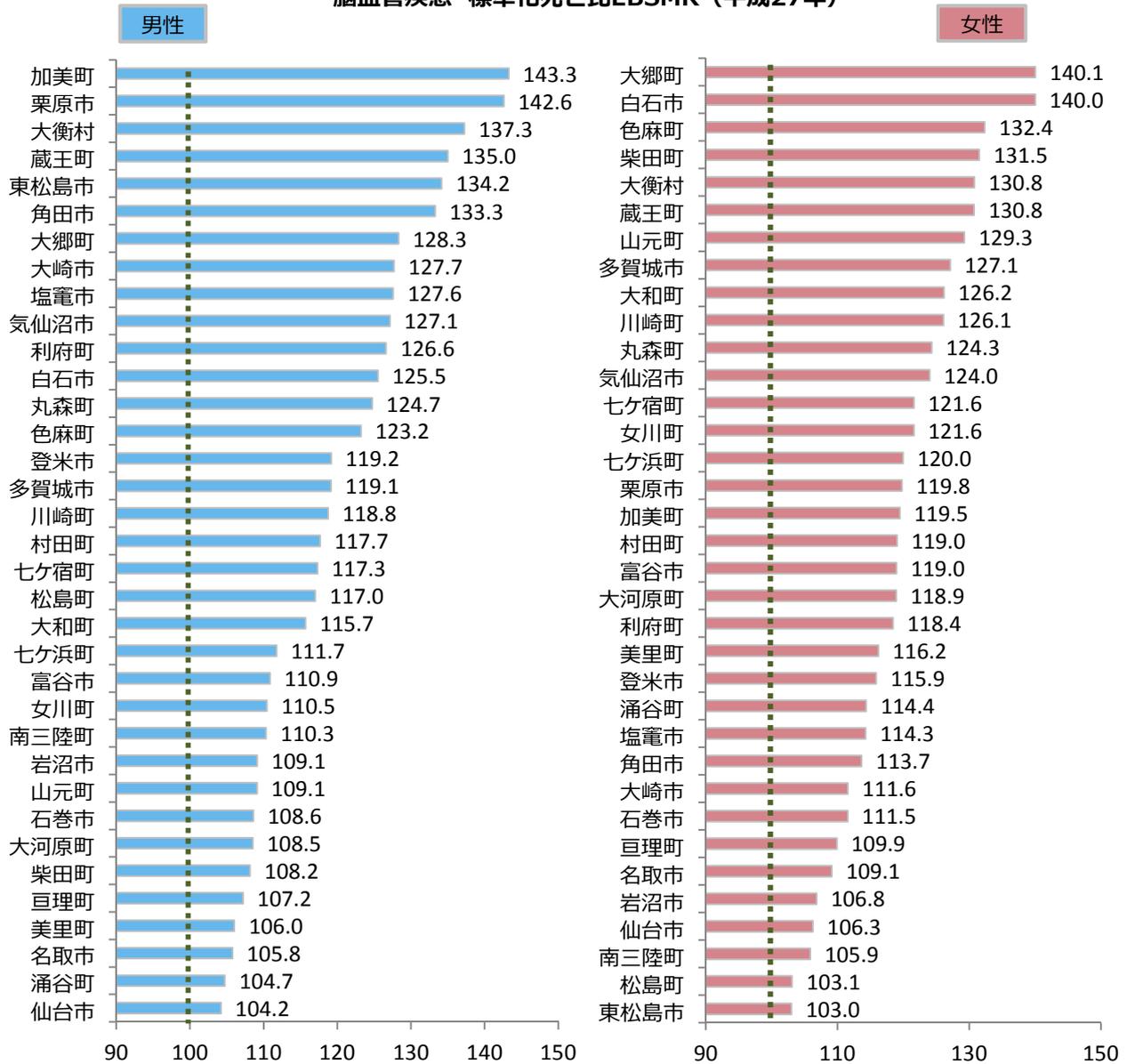
心疾患 標準化死亡比EBSMR (平成27年)



○脳血管疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は加美町、女性は大郷町。

※全国=100

脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (平成27年)

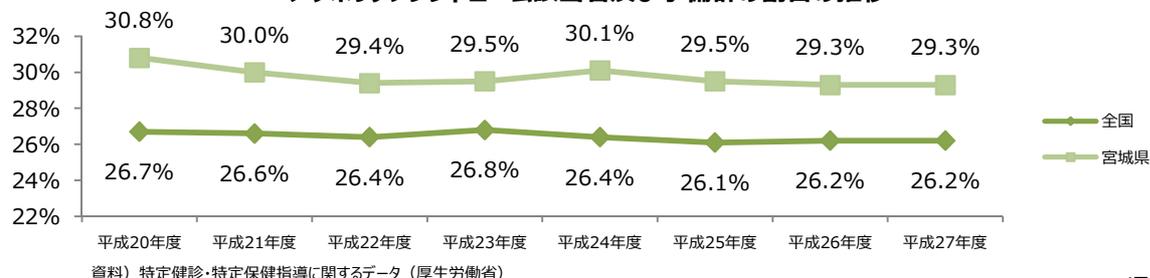


特定健診有所見者の状況

【都道府県の状況】

○宮城県のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全国より高めに推移し、平成20年度から6年連続で全国ワースト2位、26、27年度はワースト3位。

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の推移



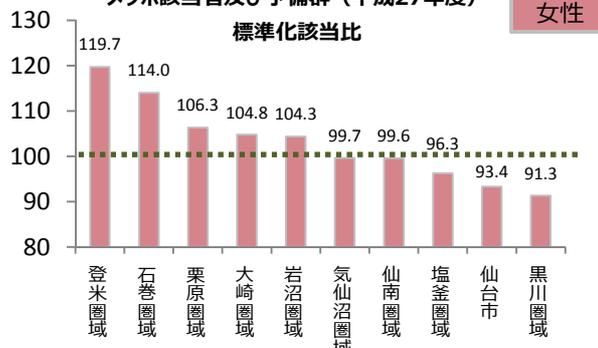
※県=100

【圏域別の状況】

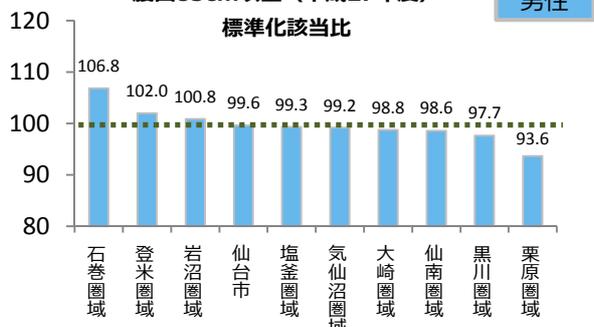
メタボ該当者及び予備群 (平成27年度)



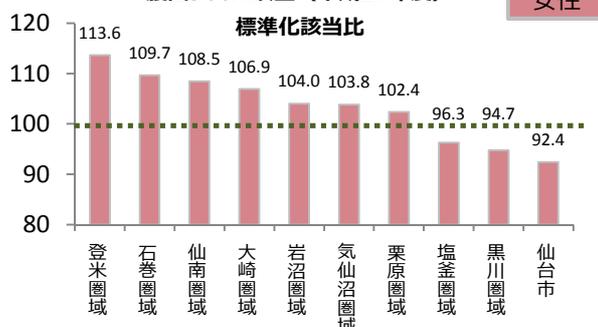
メタボ該当者及び予備群 (平成27年度)



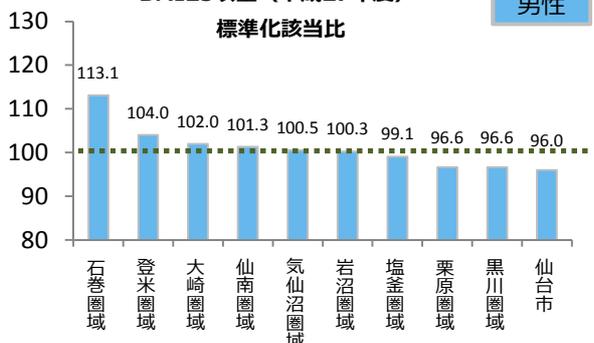
腹囲85cm以上 (平成27年度)



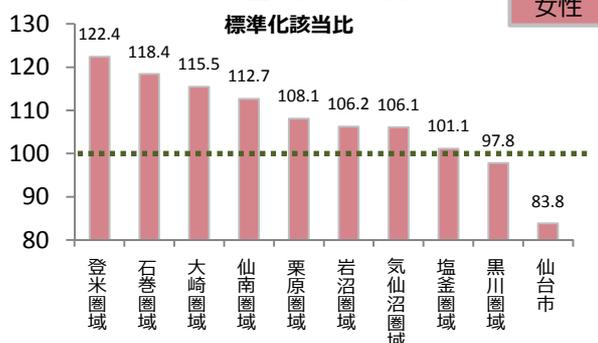
腹囲90cm以上 (平成27年度)



BMI25以上 (平成27年度)



BMI25以上 (平成27年度)

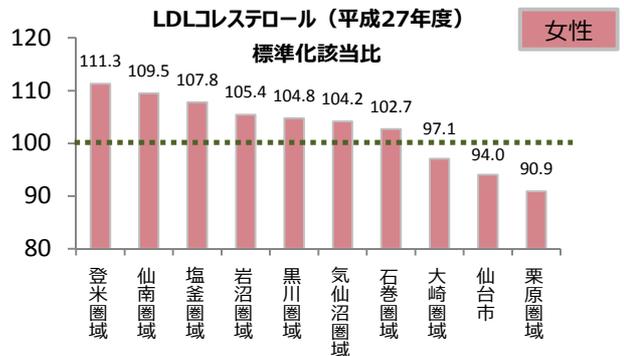
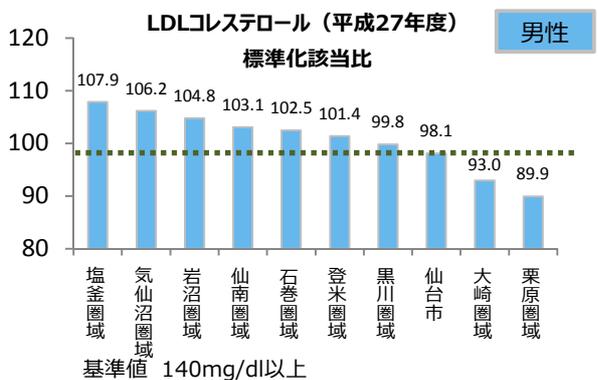
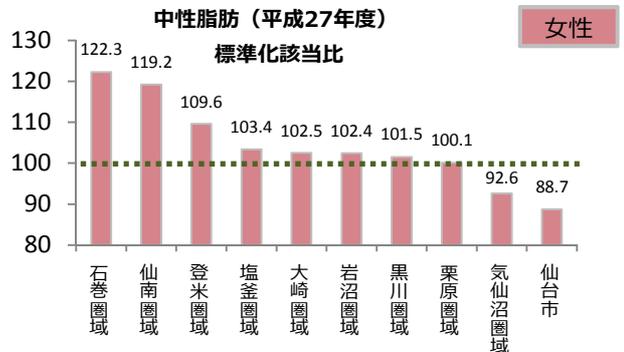
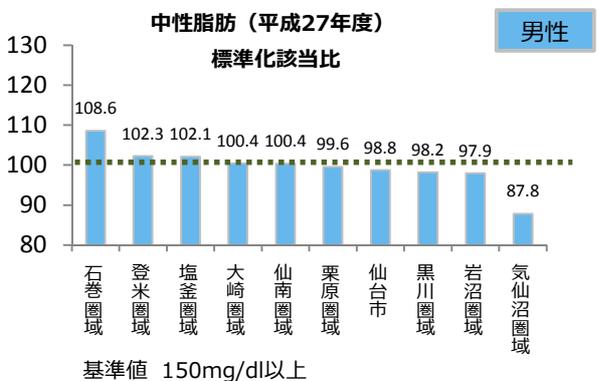
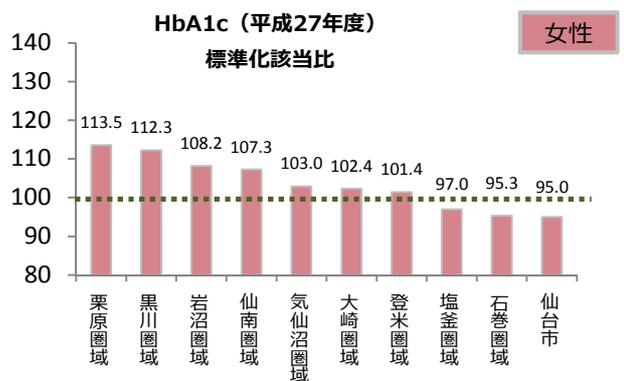
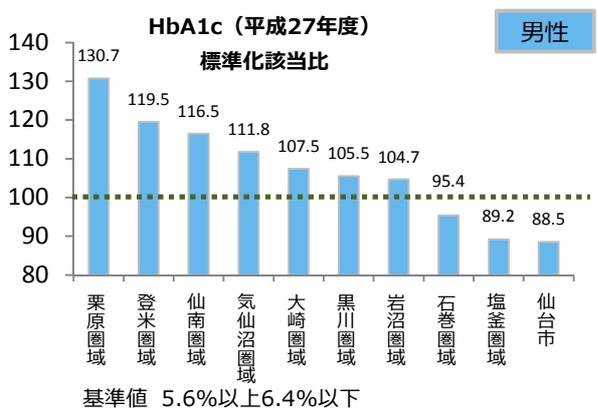
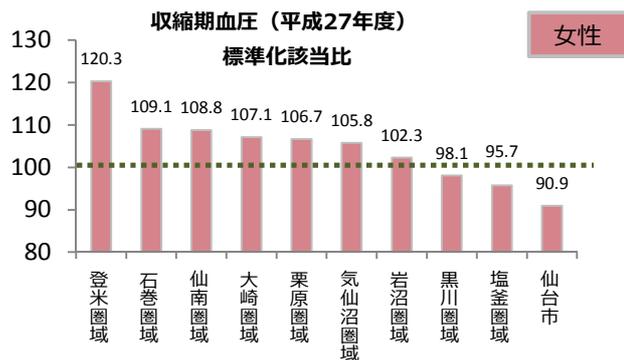
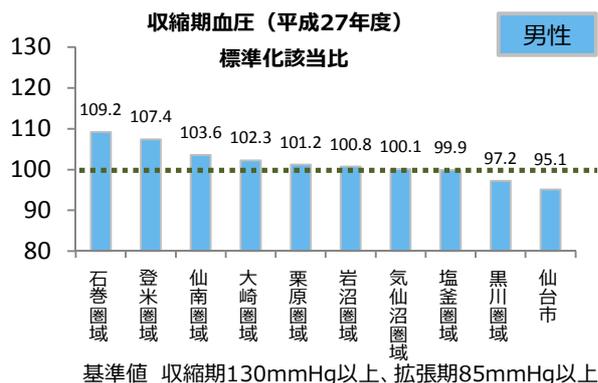


資料) 平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況 (40-69歳)

■標準化該当比とは

特定健診受診者の性別年齢構成は保険者により異なります。そのため年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために、県を100として相対値で表したものです。標準化該当比が100より大きい場合は、県平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

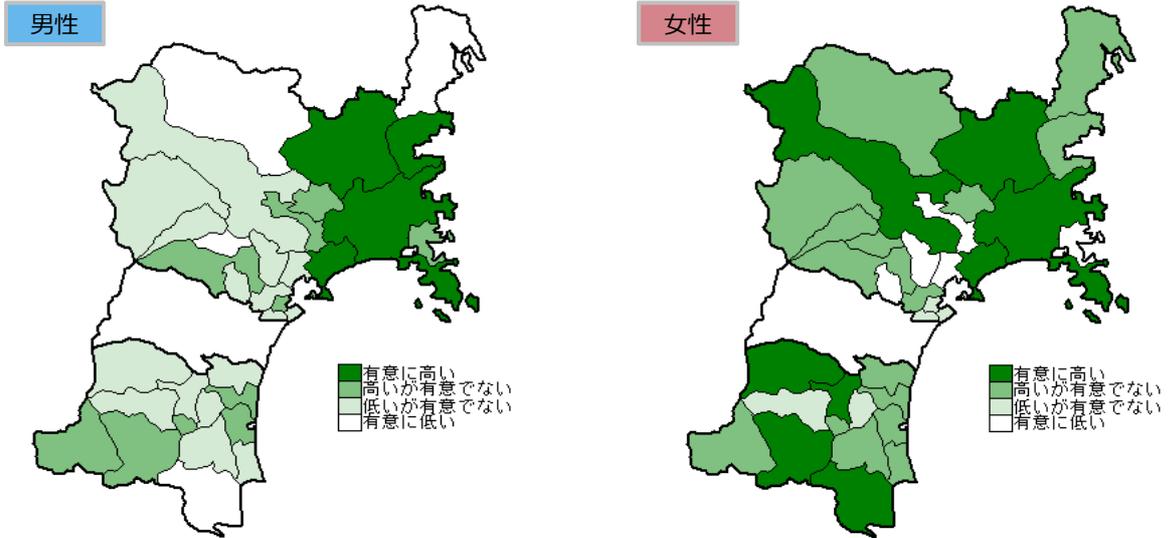
※県=100



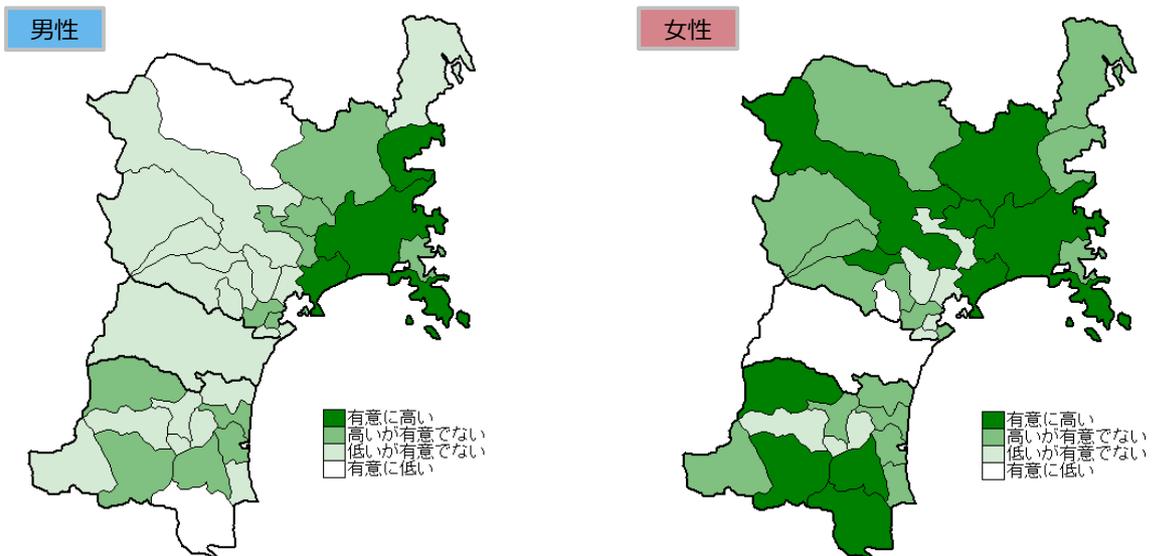
資料) 平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況 (40-69歳)

標準化該当比【市町村別の状況】

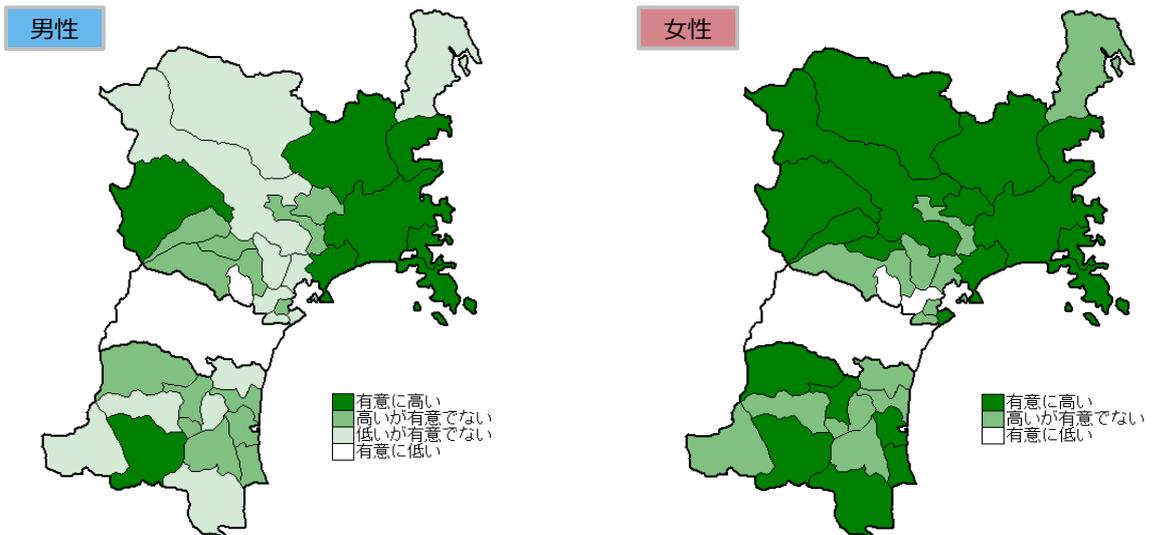
メタボリックシンドローム該当者及び予備群（平成27年度）



腹囲 男性：85cm以上、女性90cm以上（平成27年度）



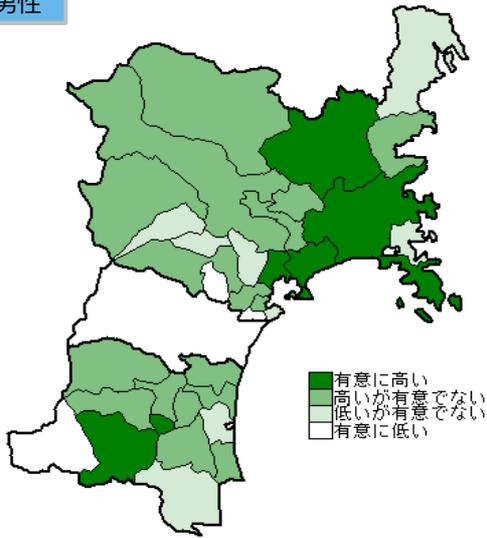
BMI 25以上（平成27年度）



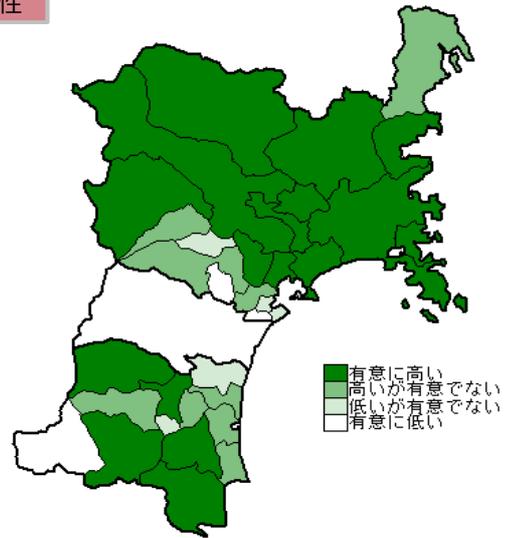
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 資料）平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況（40-69歳）

収縮期血圧130mmHg以上、拡張期85mmHg以上（平成27年度）

男性

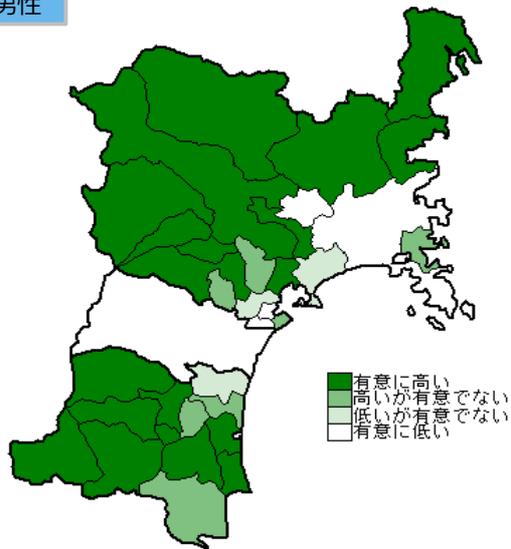


女性

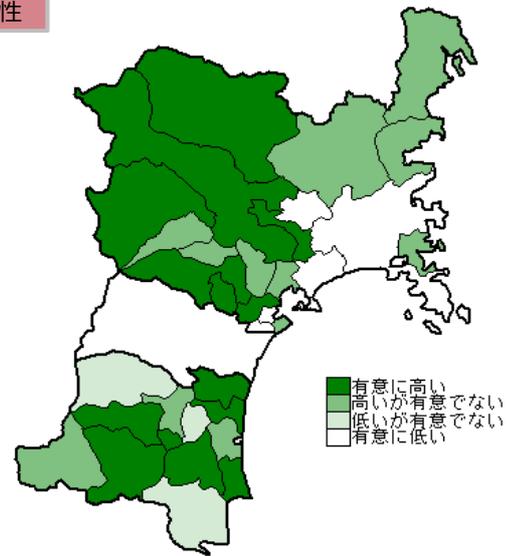


HbA1c 5.6%以上6.4%以下（平成27年度）

男性

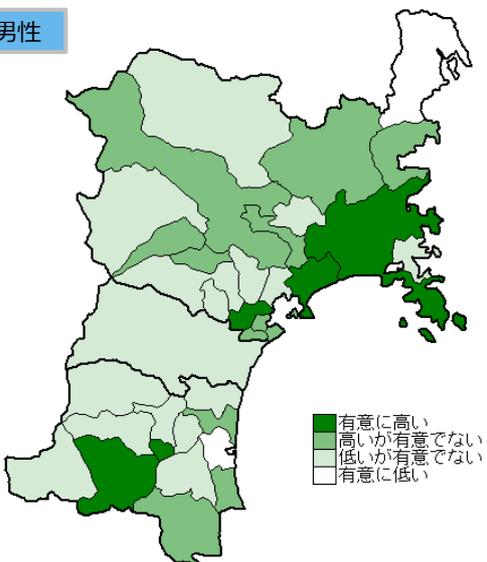


女性

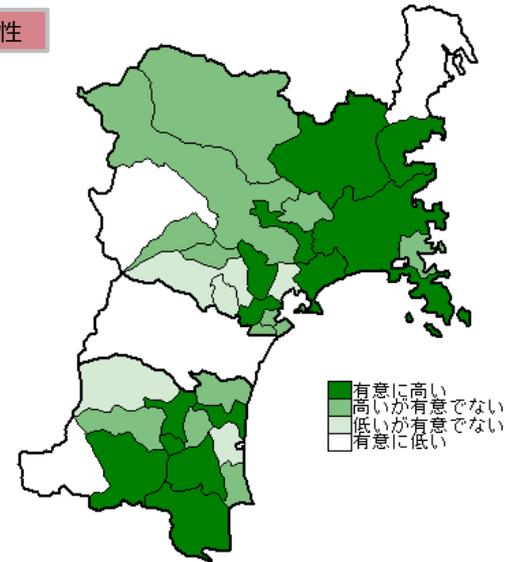


中性脂肪150mg/dl以上（平成27年度）

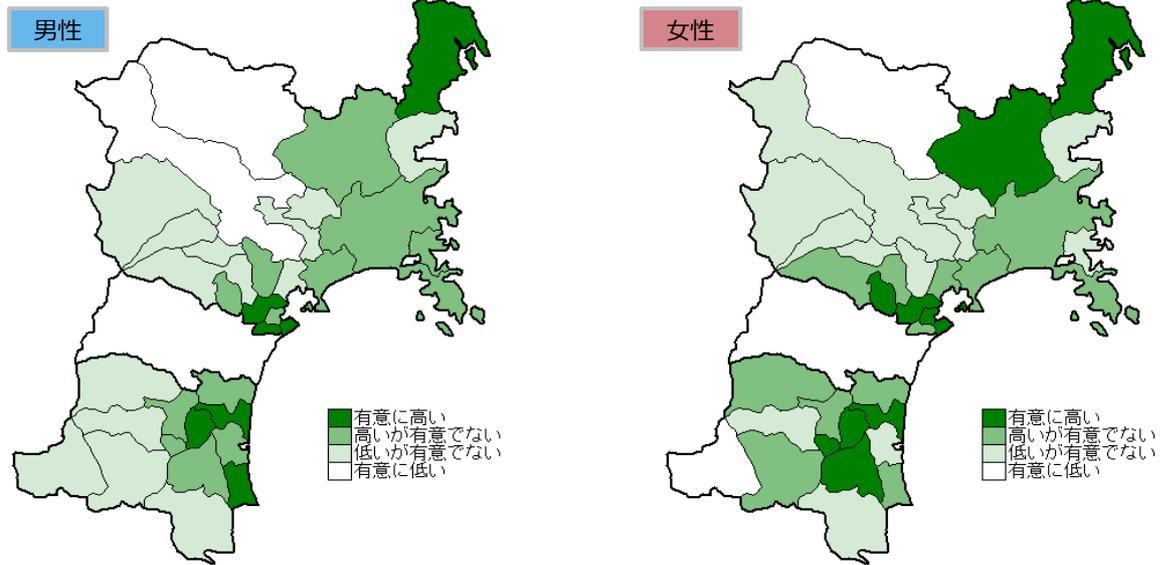
男性



女性



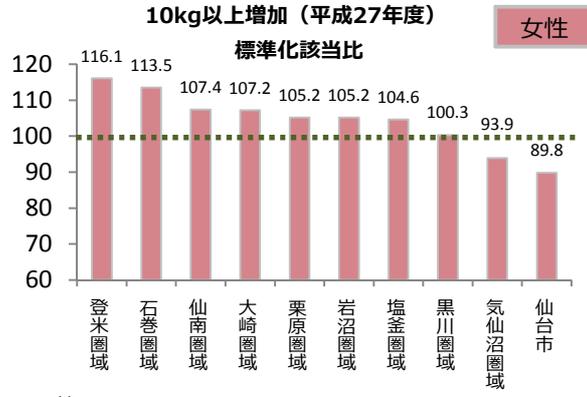
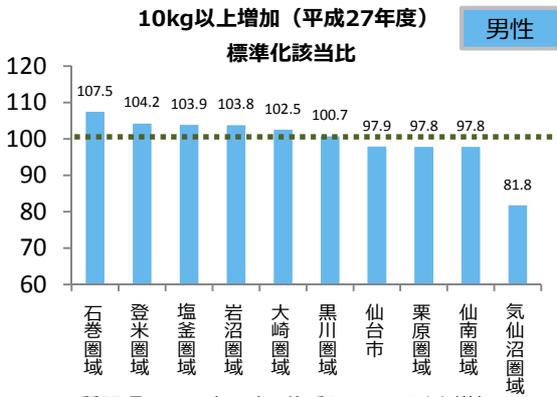
LDLコレステロール 140mg/dl以上（平成27年度）



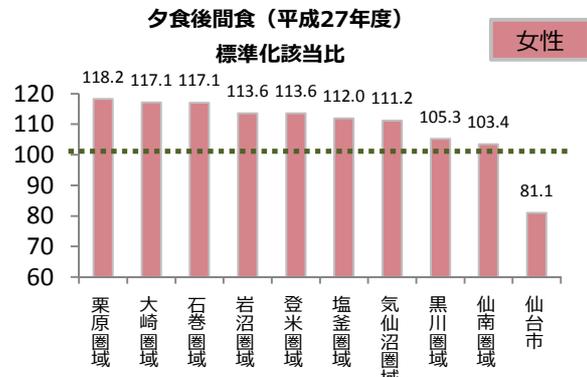
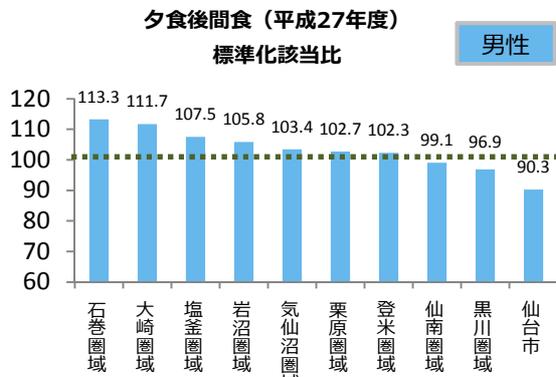
特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）に提供頂き、合算の上、集計しています。

生活習慣の状況—特定健診質問票より—

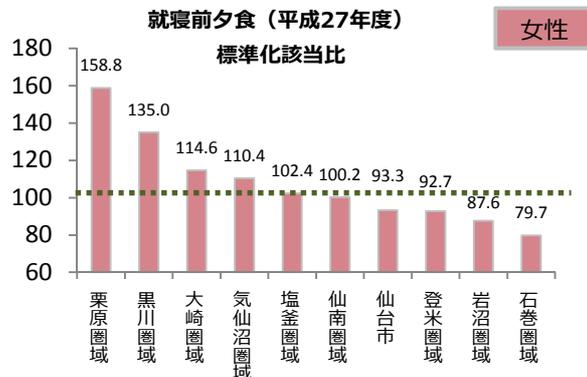
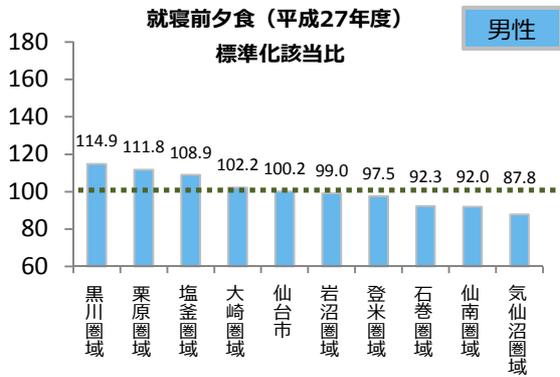
【圏域別の状況】



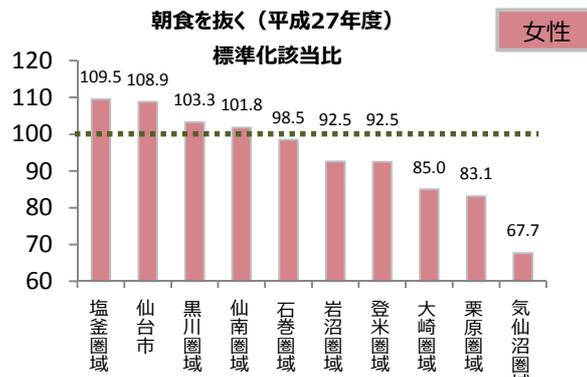
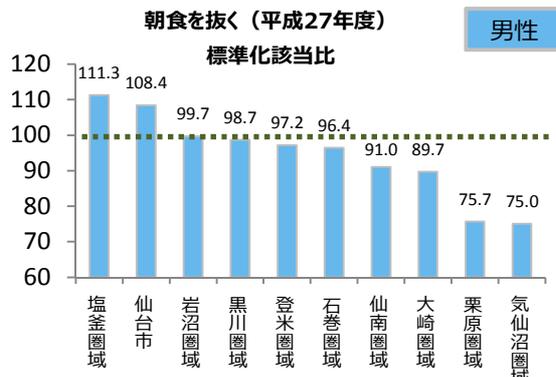
質問項目 20歳の時の体重から10kg以上増加している・・・はいと回答



質問項目 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある・・・はいと回答



質問項目 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある・・・はいと回答



質問項目 朝食を抜くことが週に3回以上ある・・・はいと回答

資料) 平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況 (40-69歳)

運動習慣（平成27年度）

標準化該当比

男性

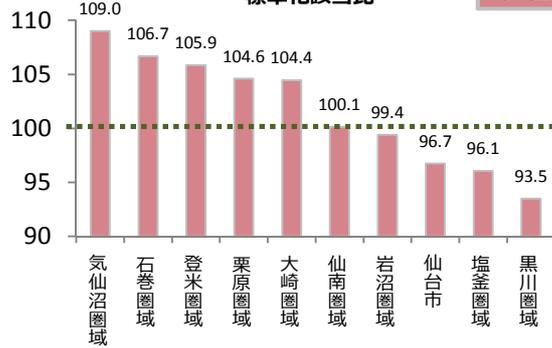


質問項目 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施している・・・いいえと回答

運動習慣（平成27年度）

標準化該当比

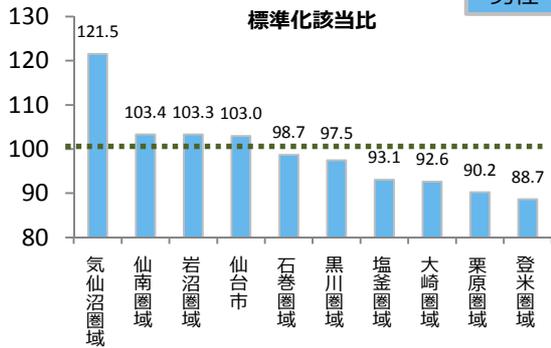
女性



睡眠休養（平成27年度）

標準化該当比

男性

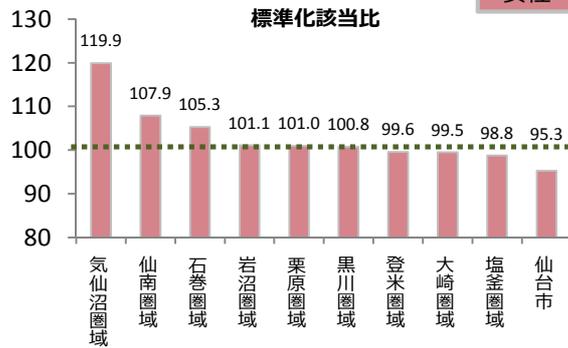


質問項目 睡眠で休養が十分とれている・・・いいえと回答

睡眠休養（平成27年度）

標準化該当比

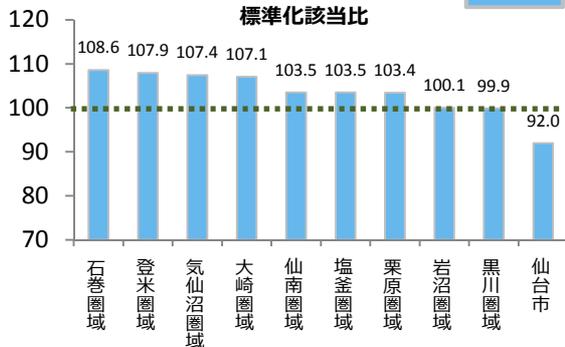
女性



喫煙者（平成27年度）

標準化該当比

男性

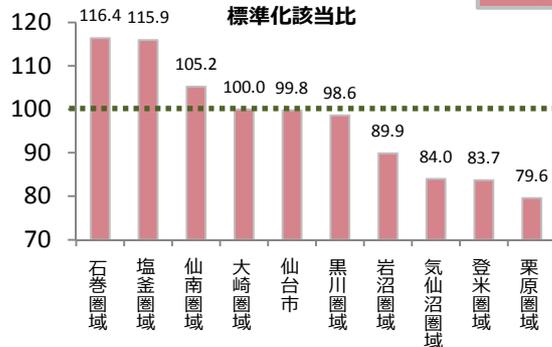


質問項目 現在、たばこを習慣的に吸っている・・・はいと回答

喫煙（平成27年度）

標準化該当比

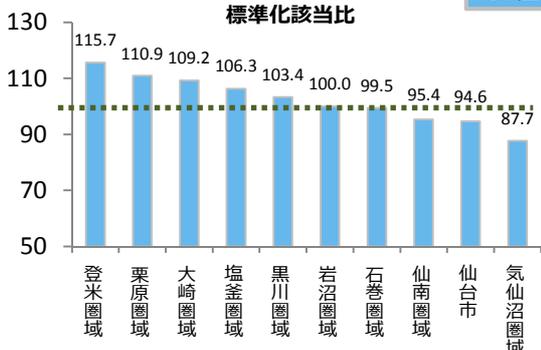
女性



飲酒（平成27年度）

標準化該当比

男性

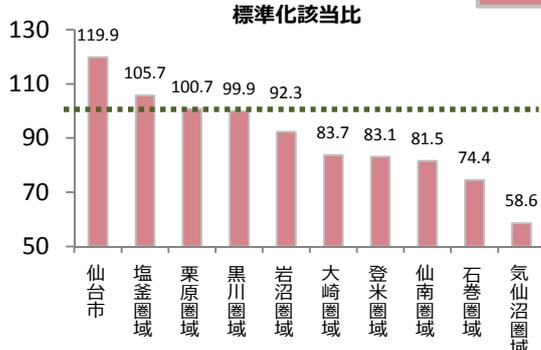


質問項目 お酒を毎日飲む・・・はいと回答

飲酒（平成27年度）

標準化該当比

女性

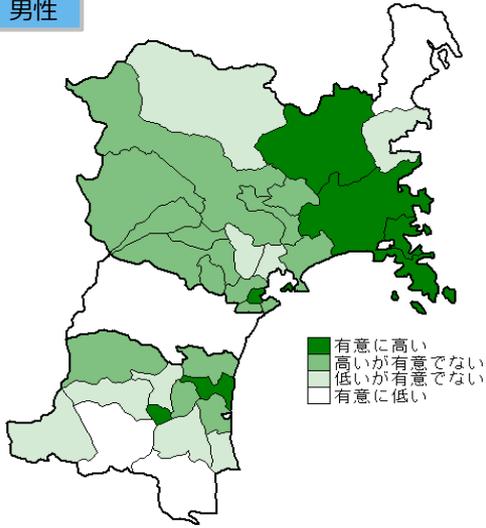


資料) 平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況 (40-69歳)

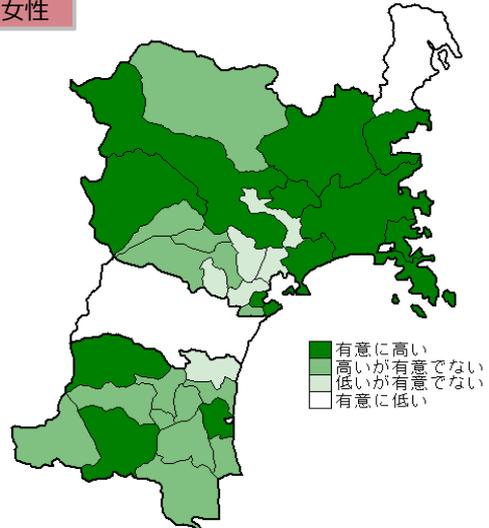
標準化該当比【市町村別の状況】

20歳の時の体重から10kg以上増加している（平成27年度）

男性

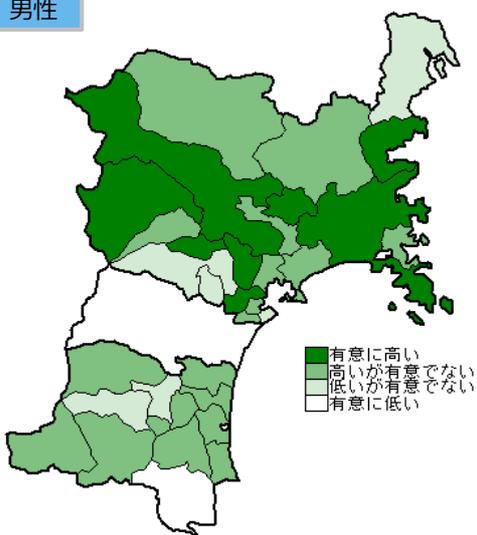


女性

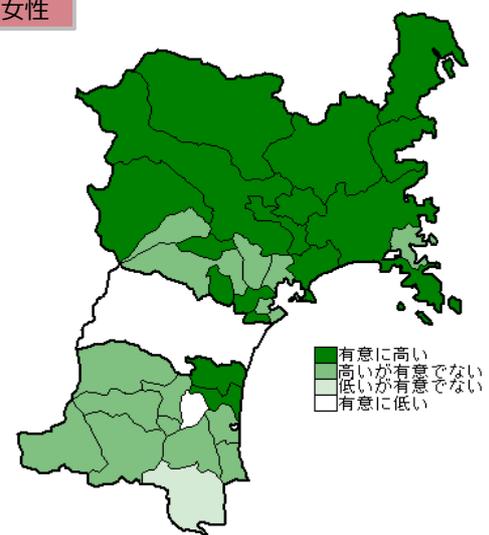


夕食後に間食をとることが週3回以上ある（平成27年度）

男性

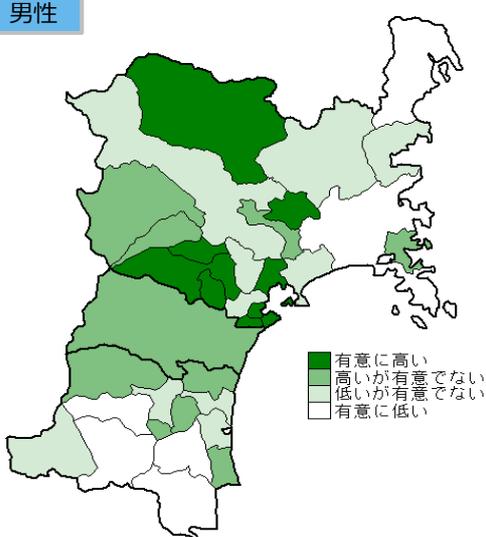


女性

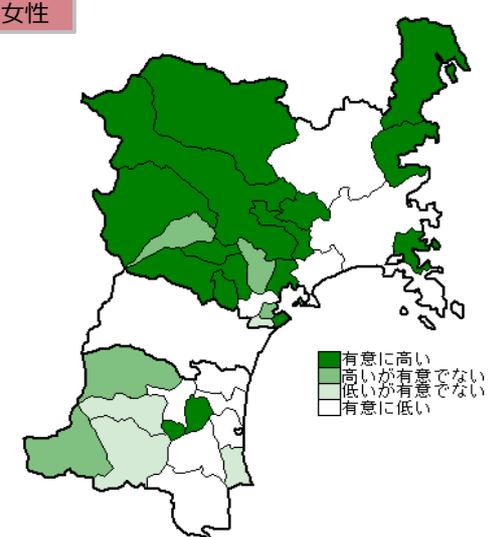


就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある（平成27年度）

男性



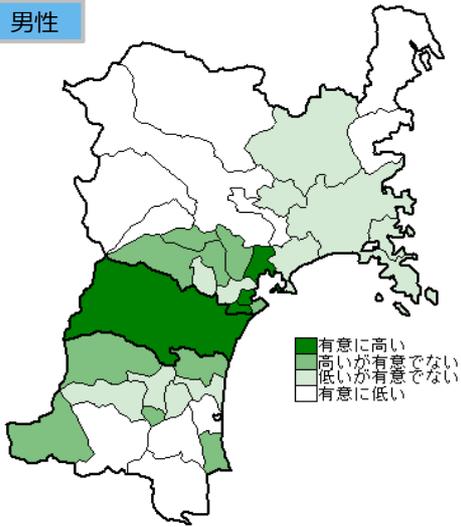
女性



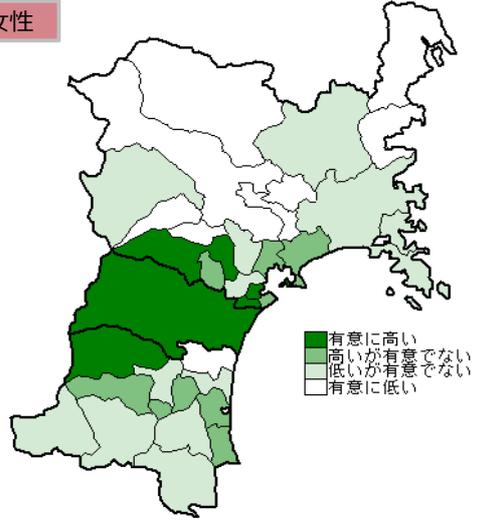
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 資料）平成27年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況（40-69歳）

朝食を抜くことが週3回以上ある（平成27年度）

男性

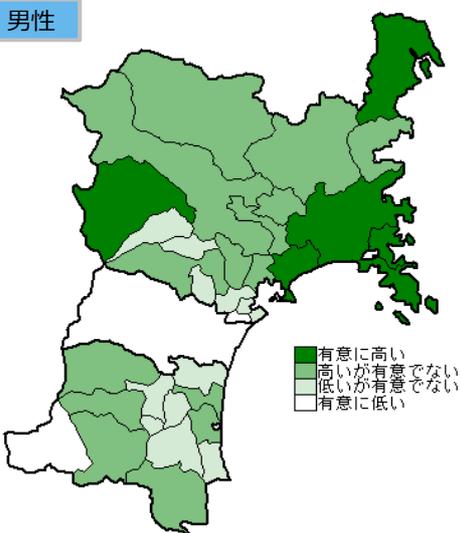


女性

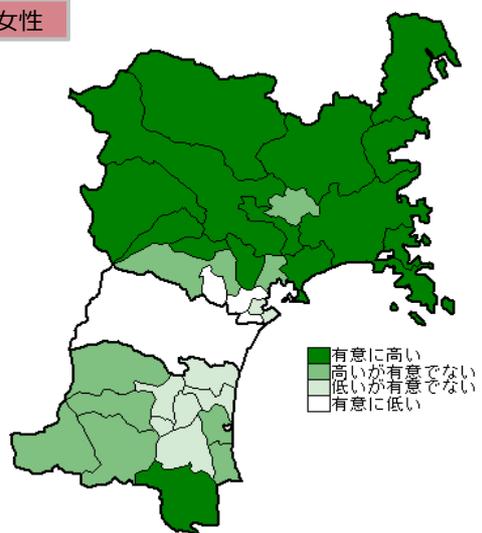


1回30分以上の軽く汗をかく運動週2回以上、1年以上実施していない（平成27年度）

男性

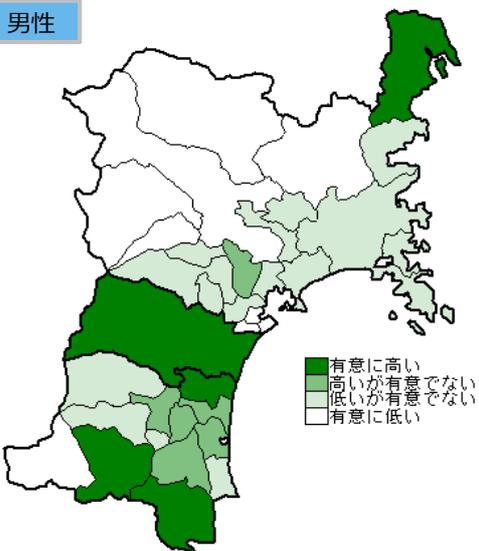


女性

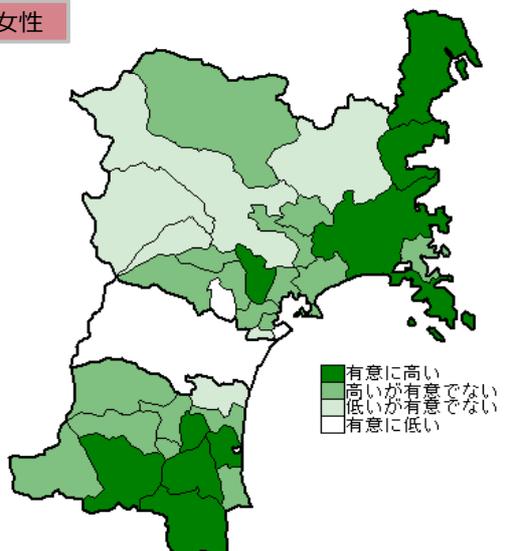


睡眠で休養が十分とれていない人（平成27年度）

男性

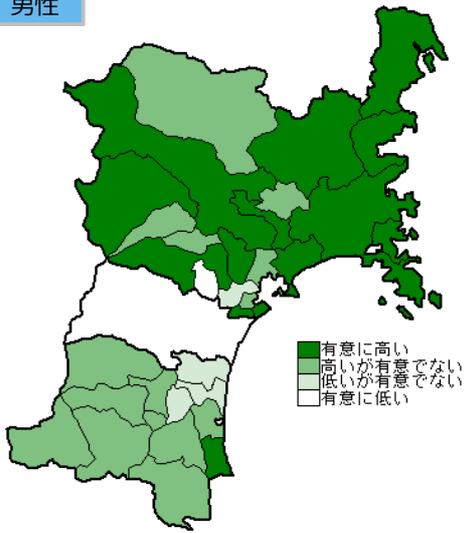


女性

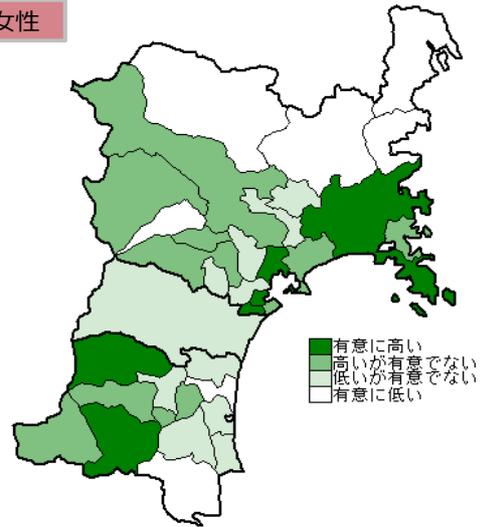


現在、たばこを習慣的に吸っている（平成27年度）

男性

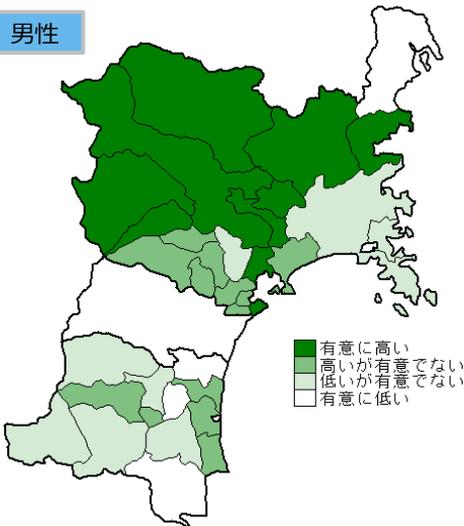


女性

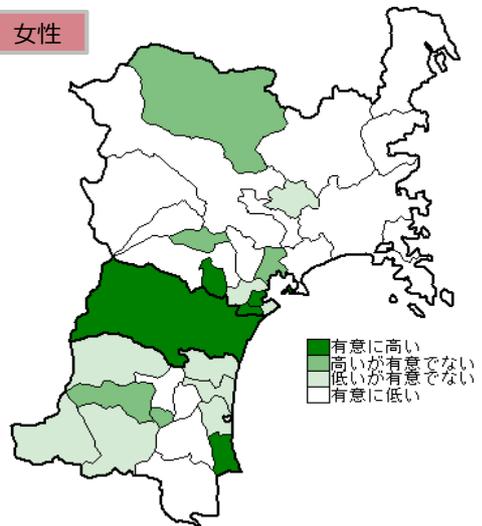


お酒を毎日飲む（平成27年度）

男性



女性



特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）に提供頂き、合算の上、集計しています。



- 平成29年度版 -

データからみたみやぎの健康 概要版

平成30年3月発行



宮城県保健福祉部健康推進課食育・栄養班
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL 022-211-2637

FAX 022-211-2697

Email kensui-s@pref.miyagi.lg.jp